



## SUPERLATIVE CHRONOMETER CERTIFICATION

### REDEFINING PERFORMANCE

オイスターウォッチは当初より、卓越した性能でその名を馳せてきました。Superlative Chronometer（高精度クロノメーター）の概念は1950年代後半に初めて考案され、それ以来すべてのオイスターウォッチのダイヤル上の表記の核となっています。この称号は、時計製造業界一般の基準より厳しく設定した新たなロレックス独自の認定によって強化され、すべてのロレックスの時計に適用されています。



## SUPERLATIVE CHRONOMETER CERTIFICATION

---

1950年代後半にロレックスの時計を「Superlative Chronometer」とした基準は今日さらに強化され、機械式時計の卓越性において新たな基準を打ち立てました。

ロレックスはひとつひとつの時計を認定し、高精度クロノメーターの地位を与えるために、他に並ぶものがないほどの検査方法と新しいハイテク設備を開発しました。この独自の称号は、時計製造業界一般の基準より厳しく設定した、ロレックスが自社内で独自に行う一連の最終検査に通過したことを証明しています。これらの検査は COSC によるムーブメントの公式認定を補完するものです。

手首着用時に精度、パワーリザーブ、防水性能と自動巻において最高の性能を発揮することを保証するために、認定はムーブメントをケーシングした後、つまり完全に組立てられた時計に与えられます。ケーシング後のロレックス高精度クロノメーターは平均日差が  $-2 \sim +2$  秒以内に調整され、これは公認クロノメーターの基準の 2 倍以上です。その精度は時計の実際の着用状況をシミュレーションし、着用者の日常生活での動作をより忠実に再現する独自の方法で検査されます。

高精度クロノメーター認定では、水だけでなく時計の精度を損なう可能性のあるすべての外的要因からムーブメントを保護する防水性能と、自動巻きおよびパワーリザーブも検査され、長期間わたって時計が高い精度を保って動き続けることを保証します。

時計の信頼性と堅牢性と同様に磁場での耐性や耐衝撃性を確実にするために、検査は設計、製造の段階まで遡った認定検査に加えて、体系的に行われます。

グリーンタグがついているロレックスの時計はすべて高精度クロノメーターで、5年間の国際保証が適用されます。

### THE SUPERLATIVE CHRONOMETER CERTIFICATION

すべてのロレックス時計が受ける高精度クロノメーター検査では、製造工程中に問題が生じる可能性のある、精度、パワーリザーブ、防水性能と自動巻きという主要性能を保証するための確認が行われます。

着用時の状況にできるだけ忠実にするために、すべての検査はムーブメントをケーシングした後に行われます。検査はロレックスが開発した完全自動化のハイテク設備を用いて、独自の方法で実施されます。

すべてのムーブメントは、15日間昼夜を通じて行われる検査による COSC（スイス公認クロノメーター検査協会）の公式認定を受けています。この検査では、5つの静止姿勢と3つの温度条件で、



## SUPERLATIVE CHRONOMETER CERTIFICATION

---

7つの基準を満たさなければなりません。ロレックスのムーブメントはすべてこのスイス公認クロノメーター認定を受けています。

### PRECISION

ムーブメントのケーシング後（この過程により精度に 1 日数秒の影響が出る可能性があります）、ロレックスは着用時の状況を再現する独自の方法に従い、ひとつひとつの時計の精度を 24 時間サイクルで、7つの静止姿勢および回転式の車輪型装置で検査します。着用者が日々実感する精度である平均日差の点で、許容差の基準は公認クロノメーターよりはるかに厳しく設定されています。ロレックス高精度クロノメーターの平均日差はケーシング後で  $-2 \sim +2$  秒以内に調整されていますが、COSC ではムーブメントのみの状態で  $-4 \sim +6$  秒です。

### WATERPROOFNESS

ひとつひとつの時計の防水性能は、最初に過度の気圧をかけ、次に高圧タンクの水の中に浸して検査されます。水深 100 m（330 フィート）までの防水性能が保証されている時計は評価水深プラス 10 %の水圧で検査され、水深 300 m、1,200 m、3,900 m（1,000 フィート、4,000 フィート、12,800 フィート）までの防水性能が保証されたダイバーズウォッチは、25 %の安全マージンを加えて検査されます。気圧検査および水中検査は、極めて正確で信頼できる結果を得るために、ロレックスが開発した独自の方法で実施されます。

### SELF-WINDING

パーペチュアルローターの自動巻きモジュールの巻き上げ力は、すべての部品が最適な状態で相互作用し、ケーシングの際に詰まったり摩擦が生じたりしていないことを確認するため、独自の方法で検査されます。

### POWER RESERVE

検査開始時にすべての時計を完全に巻き上げ、どのくらいの時間が経過したら止まるかを測定し、ムーブメントの仕様に従いパワーリザーブが検査されます。

### A ROLEX SIGNATURE



## SUPERLATIVE CHRONOMETER CERTIFICATION

---

すべてのオイスターウォッチのダイアルに記された「Superlative Chronometer Officially Certified」の表記は、ロレックス ウォッチの真の象徴です。1950 年代後半に考案されたこの表記は、20 世紀初頭から腕時計の精度の向上に力を注いできたロレックスのパイオニア的な役割を考慮すると、最高の計時技術を追求するブランドの飽くなき精神の象徴であると考えられます。

ロレックスの時計は 1910 年にスイスで、腕時計として初めてクロノメーターの公式証明書を獲得しました。1914 年にはロレックスの腕時計が、当時、精度の世界最高の権威であり、航海用クロノメーターの認定を行っていたイギリスの有名なキュー天文台から初の「A 級」精度証明書を与えられました。1926 年にロレックスが発明した世界初の防水腕時計、オイスターは外部の影響から高精度ムーブメントを保護することを第一の目標としていました。

ロレックス 時計のダイアルの表記は、ロレックスの精度の追求を反映して、時代を追って変化してきました。1930 年代後半に「Chronometer」から「Officially Certified Chronometer」に変わり、さらに 20 年位後に最終的な「Superlative Chronometer Officially Certified」という表記になりました。この表記の変遷は、時とともに自社の時計に最高の精度を保証し、オイスターの卓越性を不朽のものとするためにロレックスが絶えず革新を続けてきたことの証です。

### OFFICIALLY CERTIFIED CHRONOMETER

クロノメーターとは、正確な時刻から 1 日数秒の誤差しか生じさせずに時間を計測する、

公式認定を受けた高精度の時計のことをいいます。現在、この認定を受けるために満たさなければならない 7 つの基準のひとつは、男性用機械式時計ムーブメントで日差が 4 秒の遅れから 6 秒の進みの範囲以内であるということです。腕時計の精度は、独立機関が課す 15 日間昼夜にもおよび厳しいテストをクリアすることにより証明されます。スイスでは、この基準を満たしたムーブメントが、スイス公認クロノメーター検査協会（COSC）よりクロノメーター認定を受けることができます。

しかしながら、昔からそうだったわけではありません。1951 年以前の「クロノメーター」の名称に関する基準はかなり異なっており、当時の正式定義は、「公式認定を取得する力のある（中略）精度の高い時計」でした。すなわち当時は、クロノメーターはメーカーが自社で認定することができたのです。そこで、ロレックスは自社のクロノメーターの品質を保証するために、公式機関から認定を取得することを決断しました。こうして他社との違いを示すため、1930 年代の終わり



## SUPERLATIVE CHRONOMETER CERTIFICATION

---

に、ロレックスは自社製腕時計のダイアルの記載を「Chronometer」から「Officially Certified Chronometer」に変更しました。

### SUPERLATIVE PRECISION

1951年に、公式認定が義務付けられるようになりました。1927年以降に製造されたすべての公式認定クロノメーターの約90%がロレックス社製であったことは、ロレックスにとっての勝利と言えます。同時にロレックスは、「Officially Certified Chronometer」という記載と平行して、ひとつひとつの時計に付けるレッドシールと呼ばれるタグを生み出しました。しかし、引き続き他社と一線を画すために、ロレックスは別の目標を掲げました。証明書を「avec mention（特に優れた成績）」で取得することです。かつての規則によれば、テストで優れた性能を証明したムーブメントには、「特に優れた結果を出した」ことを示す評価付きの証明書が与えられていました。1950年代の前半より、ロレックスの創設者、ハンス・ウイルスドルフは「avec mention」認定の取得に意欲を燃やすようになります。1959年1月、彼は次のように書いています。「我々はすべての認定を『avec mention』として取得しなくてはならない局面を迎えている」。そしてこの文章は「それが得られてこそ、ロレックスの名声ますます高まるのだ」という言葉で締めくくられていました。

このレベルへの到達は、あるひとつの技術革新により成し遂げられました。1957年、ロレックスは、ゴールドマイクロステラねじ（今日はこれに代わるマイクロステラナットが使用されている）を備えた、テンワを持つ新世代ムーブメント、1500番台のキャリバーを発表し、大幅にクロノメーター精度を向上させました。それは、「avec mention」を取得するために必要とされた基準より優れたものでした。これらの類まれな品質を示すために、ロレックスは「Superlative Chronometer」という表記を考案したのでした。

これまでのダイアル上の表記にこの言葉が加わり、よく知られている「Superlative Chronometer Officially Certified」となりました。初めて採用されたのは、1950年代後半のデイトジャストおよびデイデイトのモデルです。

その後、ロレックスの時計とその性能の技術的進歩を反映してこの表記の意味も進化してきましたが、ロレックスのクロノメーターが最新の水準を超えるものであるという概念は常に強調されています。



## SUPERLATIVE CHRONOMETER CERTIFICATION

---

### IN-HOUSE CERTIFICATION

ロレックスの目標は常に、特に精度と信頼性において最高品質の腕時計を製造することです。技術の進歩により新たな可能性が開け、それまでの基準を超える新たな基準を導入することができるようになり、それによってロレックスのクロノメーターの「Superlative（最高の）」という資格の正当性を完全に証明できるようになりました。

ロレックスの創設者ハンス・ウイルスドルフは1927年にすでに、自社の腕時計の精度について次のように言っています。「我が社の（時計製造の）基準は、我が社の装置でしか測れない」

ロレックスは常に、独自の基準に基づいて自社の時計の性能を検査し、この検査をクロノメーターの公式認定で補完してきました。1973年以降、スイス公認クロノメーター検査協会（COSC）の設立とともに複数の歩度公認検定局が統合され、統一基準が採用されたため、「avec mention」は使われなくなりました。ロレックスは、時計ひとつひとつを自社内でさらに厳格に検査することにより、クロノメーターの「Superlative」という資格を証明し続けました。このように、長期にわたり精度を保つ防水性と防塵性の検査に加え、ロレックスは何十年も前から、ムーブメントをケーシングした後にクロノメーターの精度を検査してきたのです。

着用者の日常生活での動作をより忠実に再現する、時計製造業界で最も厳しく設定した基準を採用した新たなロレックス認定は、ロレックスの目標への追求を反映しています。最新の基準を上回るこのレベルの性能は、自社内でしか認定することができません。このようにして、ブランドは機械式時計の限界を押し広げ、ロレックスが卓越した時計製造の基準としている最高レベルの性能をお客様に提供することができるのです。